

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

R5 年 6 月 25 日

(あて先) 姫路市長

提出者

住 所 大阪市中央区安土町1-3-5

氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

株式会社KANSOテクノス
代表取締役社長 岡田 達志

電話番号

06-6263-7300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)KANSOテクノス 本店 姫路市管轄内事業場
事業場の所在地	姫路市管轄区域内
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	20,922百万円
③ 従業員数	531人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

別紙 1 (産業廃棄物処理計画書 補足)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【工事以外(オフィスゴミ、不要品処分)】 混合→破碎・選別 廃乾電池→焙焼 廃蛍光灯→破碎・選別 廃プラスチック→破碎・切断・燃焼</p> <p>【解体工事】 ・がれき類(コンクリート塊)→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・木くず→再生処理業者に委託して、チップ(合材用、燃料用)として再資源化</p> <p>【建物新築工事】 ・混合廃棄物 建設工事において発生した廃棄物→処理業者に委託し、分別し再資源化及び埋め立て</p> <p>【土木工事】 ・汚泥 現場で出来るだけ脱水→処理業者に委託→更に脱水固化し改良土として再生</p>
-----------------	---

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り優良認定処理業者を選定し、直接再生利用業者へ処理委託をしている。 ・可能な限り分別処理を行い、再資源使用を促進している。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート破片・木材については、分別し徹底管理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり

①現状	【前年度(年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目 標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり

①現状	【前年度(年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
②計画	【目 標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり			
①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり			
①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・地域、委託基準に従って、産業廃棄物委託業者を選定し、書面による契約を確実に実施している。又、搬出時 抜打ちで委託処理業者の現地確認を行っている。 ・可能な限り優良認定処理業者を選定している。 ・可能な限り分別処理を行い、再資源使用を促進している。		

②計画	【目標】 廃棄物の種類および排出量は別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物指導指針に基づき、現場内での自ら利用を検討する。 (コンクリートガラの現場破碎の上 路盤材として利用等) ・再生利用が可能である産廃物については、直接再生利用業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。			
※事務処理欄			

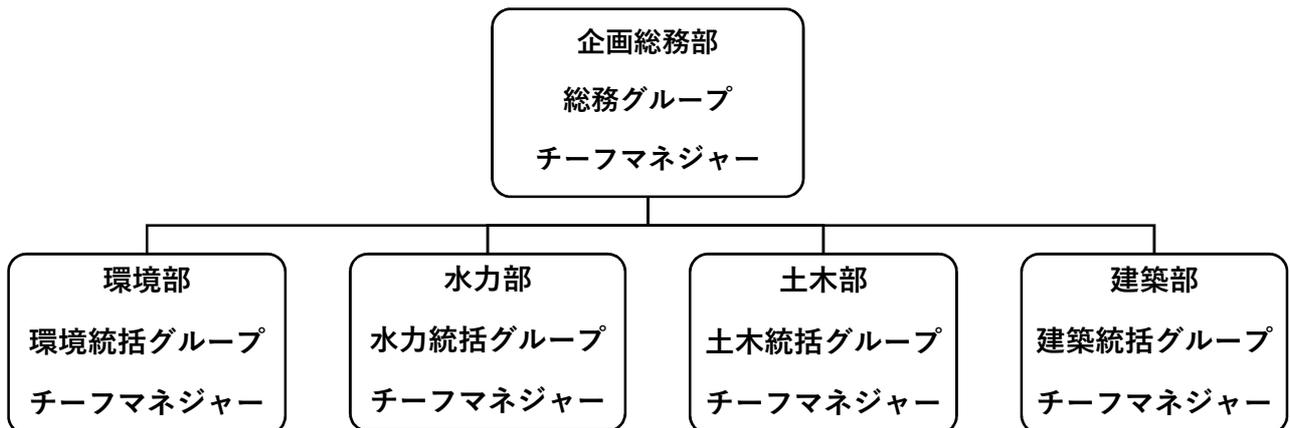
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙2) 廃棄物処理に関する管理体制

廃棄物処理責任者		企画総務部 総務グループ チーフマネジャー
廃棄物管理担当		各部（環境部・水力部・土木技術部・建築部）統括グループチーフマネジャー
役割	廃棄物処理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方針の決定 ・行政への各種報告
	廃棄物管理担当	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理計画の策定 ・処理業者、リサイクル業者の選定 ・委託契約の締結 ・マニフェストの交付および管理

廃棄物管理組織図



別紙3 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

実績：前年度（2023年度）実績量

目標：今年度（2024年度）目標量

単位：トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
金属くず	0.57	0									0.57	0.00			0.57					
廃プラスチック類	1.28	0									1.28	0.00			0.35					
がれき類	2.96	0									2.96	0.00			2.96					
建築系混合廃棄物(安定型のみ)	2	0									2	0.00			2					
汚泥	1.32	0									1.32	0.00	1.1							
木くず	83.38	8.0									83.38	8.00								
繊維くず	10.43	1.0									10.43	1.00								
ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず	14.63	1.0									14.63	1.00	9.02							
コンクリート破片	4991.85	49.0									4991.85	49.00								
管理型混合廃棄物	39.097	3.0									39.097	3.00	7.54							
石綿含有産業廃棄物	25.91	2.0									25.91	2.00								
廃石綿等(飛散性)	4.5	0									4.5	0.00								
管理型建設混合廃棄物	1.95	0									1.95	0.00	1.95							
石綿含有がれき類	2.22	0									2.22	0.00	2.22							
合計	5182.097	64.0	0	0	0	0	0	0	0	0	5182.097	64	21.83	0	5.88	0	0	0	0	0